

関連する「つまずきポイント」

- ①自分の考えをもつこと
- ⑤文章からキーワードを見つけること

読むこと領域

論理の展開や場面の設定の仕方をとらえて「読む」こと

に関するつまずき解消に向けた系統的な取組

丹波市立和田中学校の実践

第3学年 登場人物の行動描写から心情を的確にとらえること

第2学年 場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えること

第1学年 登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解すること

	身に付けさせたい力の系統	各段階におけるつまずき
第3学年	話の展開・内容と、場面や登場人物の設定とのかかわりを考えながら、文章全体を理解することができる。	登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。
第2学年	文章全体と部分の関係、描写の効果、登場人物の言動などを考え、内容理解に役立てることができる。	場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
第1学年	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読むことができる。	登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。

つまずき解消に向けた取組の視点

- ①音読の効果重視し、毎授業の中で声に出して文章を読む時間を確保する。
→教師の範読、一斉読み、指名読み、ペア読み、キーとなる部分・文を繰り返し音読。
- ②「発問に対してノートに考えを書かせる」→「個人思考」
→机間指導がポイント、考えさせる発問を用意。
- ③「書いた事柄を内容に応じて、意図的に指名し発表させる」→「集団思考」
→友達の意見をノートにメモしながら聞かせる。

第1学年

読むこと②

登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解すること

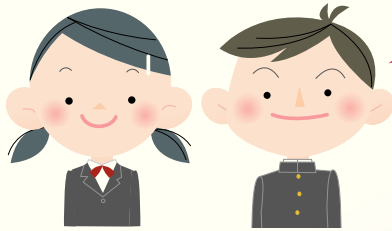
つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。
(初発の感想から最終場面のとらえ方に個人差が見られる)



全文を読んでみて、
気になった一文を抜き出し、その理由を書きなさい。



「指で粉々に押し潰してしまった。」

- 大事にしていたチョウをなぜ粉々にしたのかわかりませんでした。
- エーメールに冷たい目で見られ、どうしようもなく、つぶしたのだろうか。
- とても珍しいチョウなのに、押し潰したことが気になりました。
- 何もかも終わったと感じたから、潰したのだろうか、もっと詳しく知りたい。

実践の概要

単元名 作品を読み解く 『少年の日の思い出』 東京書籍

目標 最後の場面で、「僕」がチョウを押し潰した行動について考える。

内容

- 「最後の場面」の音読を繰り返し、「僕」の告白に対する「エーメール」の反応と、そのときの「僕」の思いをとらえる。
- 「僕」がなぜチョウを粉々に押し潰してしまったのか、意見の交流をする。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第3学年	関係を解く	登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。
第2学年	描写を味わう	場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
第1学年	作品を読み解く	登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。

単元末の目指す姿

- さまざまな形態での音読を繰り返すことで内容の理解を深め、自分の力で発問に対する考えをノートに書くことができる。
- 人物の行動描写について読み解く発問に対して、ペア交流や意図的な指名による全体交流で出た意見をメモする活動を通して、深く考え、主題をつかむことができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

さまざまな形態の音読をリズムよく繰り返す。

活動のねらい▶ ・繰り返し音読させることで、文章内容を十分に理解させる。

ここがポイント

1時間の授業で、音読の時間を10分から15分とる。教師の範読、ペアでの音読、一斉音読、個人音読、発問に直接つながる部分の繰り返し音読、指名音読など、さまざまな音読パターンを授業展開の中にリズムよく取り入れていく。

授業の様子



繰り返しの音読をさせる際は、リズムが大切です。間髪入れずに、次の指示を出すことで、集中力がぐんと高まります。



つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

描写をもとに、登場人物の行動の背景にある心情を考え、交流する。

活動のねらい▶ ・行動描写をもとに登場人物の心情をとらえるようにする。

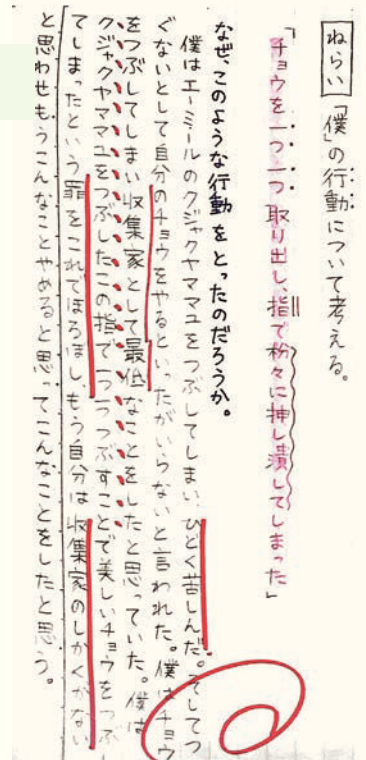
実際のノート

ここがポイント

- ・主人公がどういう思いだったかを推測させ、何度も読み返させながら、その思いが表れている部分を探す。
- ・探した叙述をもとに、推測した主人公の思いを加筆・修正する。
- ・5行程度で簡潔に自分の考えを書くように指示をする。
- ・各自の考えを交流し合い、相互評価する。

(期待される生徒の姿)

- ・最初に自分が推測したことに基づいて登場人物の行動の意味を考えることで、一貫性をもたせることで、心情描写と行動描写を結び付けて考えることができるようになる。
- ・交流・相互評価する中で、自分の考えを客観的に見直すことができ、理解を深めることができる。



第2学年

読むこと②

場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えること

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
(物語全体のつながりやキーワードをとらえられることができていない)

Teacher: メロスが再び走り始めたのは、なぜでしょうか。

Student 1: ここでやめたら、セリヌンティウスを裏切ることになるからかな。

Student 2: 自分の名誉を守るために走っているのだと思う。

Student 3: セリヌンティウスを殺されたくないから。

実践の概要

単元名 **描写を味わう** 『走れメロス』 東京書籍

- 目標** 再び走り始めたメロスの様子をとらえ、走り続けることの意味について考える。
- 内容**
- ・「再び走り始めた場面」の音読を繰り返し、再び走り始めたメロスの姿がどのように描かれているかをとらえる。
 - ・「メロスは何のために走るのか」、走り続けることの意味を考える。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第3学年	関係を解く	登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。
第2学年	描写を味わう	場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
第1学年	作品を読み解く	登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。

単元末の目指す姿

- ・音読と発問について考えることを繰り返し、場面ごとの人物や情景の効果的な描写に着目し、メロスと王の人物像や、考え方の変化をとらえることができる。
- ・発問に対する友達の意見をメモしながら聞くことで、新たな視点をもち、さらに自分の考えに説得力をもたせようと、文章（物語）全体をとらえ直すことができる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

登場人物の行為の意味について、根拠を示しながら考えを書く活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 文章描写から想像力をはたらかせて自分の考えを表現させる。

ここがポイント

- 「メロスは何のために走っているのか。」等、主人公の行為の意味を「何のために」と問うことで、根拠に基づいて説明する必要性をもたせる。
- 各場面の登場人物の行動とその際の心情を比較させ、場面ごとの変化やつながりを意識させながら、自分の考えを書くように指示する。

登場人物の行為の意味を考える



「大きなもののために走っている」の「大きなもの」は、互いの信頼だと思う。最初は単純な正義感からだったと思うけど、弱い自分と戦ううちに、メロス自身も成長してきていると思う。

(期待される生徒の姿)

- 行動描写だけでなく、場面の展開も根拠にしなが、登場人物の行為の意味を考えることができる。
- 「5行で書こう」などと、書く分量を指示することで、行為の意味を端的にとらえることができるようになる。

つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

登場人物の行為の意味について考えたことを、ペアやクラス全体で交流し、自分の考えと比較させる。

活動のねらい▶ 個々の生徒の読みを学級全体の読みへと広げていき、さらに思考を深める。

ここがポイント

- 「自分の根拠と理由が合っているか」「場面ごとの変化やつながりに基づいているか」など、交流する際の視点を示すようにする。
 - 自分の考えと比較しながら聞き、発表を聞きながら加筆するよう指示する。
- ※個々の生徒の読みの共通点や相違点を比較させ、学級全体の読みに広げ深めるため、必要に応じて意図的に指名発表をする。

全体での交流



「信実」「友情」「信頼」、どれも、メロスの中で何度も揺れ動いている中で湧き上がってきた思いというのは共通しているな。

座席表を用いた「学びを深めるキーワードの記録」

(期待される生徒の姿)

根拠となる描写等、友達から新たな視点を得ることができる。視点に基づいて発表を聞き合うことで、登場人物の行為の意味について、根拠となる表現をより意識できるようになる。

登場人物の行動描写から心情を的確にとらえること

つまずきの実態

～こんな生徒の姿が見られませんか？～

登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。

〈H27 ひょうごつまずき状況調査結果から見えたつまずき〉

- ①「あなたは、国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりごとに内容を整理しながら読んでいますか。」
「どちらかといえばそうしていない・そうしていない」の割合
(1年：27.0% 2年：28.5% 3年：30.5%)
- ②「あなたは、国語の授業で書いた文章を友達と読み合ったり、助言し合ったりする学習をしていますか。」
「どちらかといえばそうしている・そうしている」の割合 (小学校：53.8% 中学校：35.0%)
- ③「あなたは、国語のどんな勉強が好きですか。」
「グループなどで、話し合い活動を行う時間」…44.5%



- ・学年が上がるにつれ、文章も長く難解になり、読むことへの抵抗感が強くなる傾向がある。
- ・話し合い学習に興味をもつ生徒が多いが、考えを深め合う話し合いには至っていない。

実践の概要

単元名

関係を解く

『故郷』 東京書籍

目標 3つの課題について考え、話し合うことで、「魯迅」が伝えようとしたことをつかむ。

- 内容
- ・3つの課題について分担を決め、各自で取り組む。
 - ・異なる課題の者同士で班を作り、意見交流する。
 - ・同じ課題の班に戻り、学習成果を交流し、自分たちの結論を出す。
 - ・クラス全体で、互いの班の考えを発表させる。

学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

学習内容 (単元名)		つまずきの実態
第3学年	関係を解く	登場人物の設定や心情・情景の描写から作品の主題を理解することができない。
第2学年	描写を味わう	場面の展開をとらえながら、文章全体のつながりを考えることができない。
第1学年	作品を読み解く	登場人物の行動描写から心情を的確にとらえることができない。

単元末の目指す姿

- ・グループの代表として意見を述べるために、さらに深く読み取ろうとし、場面や登場人物の描写に根拠を求めようとする。
- ・複数の課題に対する考えを比較することを通して、登場人物の設定や心情・情景の描写をもとに主題を考えることができる。

異なる課題の者が集まった班で交流して深まったことを、同じ課題の班で伝え合う活動を取り入れる。

活動のねらい▶ 異なる課題に対する考えを比較することで、様々な観点から作品の主題について考えられるようにする。

【活動の流れ】

- ①3つの課題を示し、分担を決める。
- ②分担した課題について、個人で考えをまとめる。
- ③同じ課題の班で、考えを交流する。
- ④異なる課題の者で班を作り、それぞれの課題についての考えを交流する。
- ⑤同じ考えの班に戻り、異なる班の考えと、それに対して自分が考えたことを交流する。

ここがポイント

- 異なる課題に対する考えを比較し、共通点を考えさせる。
- 作品の主題が何なのかを考えながら交流するように指示をする。
- 元の班に戻って説明する際には、異なる課題の班で出された意見をそのまま伝えるのではなく、共通点をまとめたり、自分の考えを付け加えたりさせる。

授業の様子

〈今回の学習で考える3つの課題〉

- A 登場人物の関係をまとめる。
- B 二つの「月」の描写を比較する。
- C 「ルントー」の望むものと「私」の望むものを比較する。



すぐに手に入るものとそうではないもの。難しいなあ。

生活の苦しさが、性格や人間関係を変えたという意見が多かったよ。

「金色の丸い月」は、きっと美しい故郷や新しい生活を象徴しているんだよ。

若い世代に新しい生活をもってほしいということだと思うな。

A・B・Cの課題から見えたことは「新しい生活」だね。

【期待される生徒の姿】

- 異なる課題からアプローチすることで、作品の主題についての考えを深めることができ、対話的な学びにつながる。
- グループの代表として意見を述べるために、場面や登場人物の描写に根拠を求めようとするができる。
- 全員が自分の言葉で説明し直すことで、読み取ったことやそれに対する自分の考えを再確認することができる。